



河村拓哉さんの場合

放送大学は自宅でも受講できる通信制大学です。さまざまな年代や立場の人たちが学生として集まるため、一般的な全日制大学では得られない刺激があります。今回は、この学び舎で新たな自分を発見して大きく羽ばたいた人を紹介します。

先輩から刺激受け大きく成長 人間を変えられる放送大学

年上の学生から刺激

入学してまず最初に驚いたのは、学生のにぎわいと「幅」の広さでした。
「土曜日に八戸サテライトスペースに行ってみたら、マジックをやっていた。同年代の人から年配の方まで一緒になってわいわいやつていて、自分も

アルバイトで学費賄う

八戸市役所介護保険課の河村拓哉さん(25)は放送大学の卒業生です。中学3年生のころ人間関係の悩みから登校できなくなり、私立高校から通信制高校に編入・卒業後、放送大学の門をたたきました。

放送大学を選んだ理由は、単位を順調に取得できれば4年間合計80万円ほどで済ませられる学費の安さです。親になるべく迷惑をかけたくないという思いが強く、アルバイト料で学費を賄いました。



てきばきと働く河村さん

自然にその輪の中に入っていました。

放送大学は通常の大学と違って単位選択が完全に自由ですが、自分で学習の段取りを組まなければならず、独力では学習の進め方のコツがなかなか分かりません。そんな時には、サテライトスペースで出会った年上の学生である先輩たちが手を差し伸べてくれました。

河村さんは、「自分は放送大学で人間を変えることができました。かつての自分と同じような立場の人には『放送大学に入れば必ず仲間が見つかるから大丈夫』と伝えたいです」と話していました。

放送大学で学んだ心理学の知識を生かして多くの人の役に立ちたいとの夢を持ち、今年の4月市役所に採用されました。働き始めてまだ4カ月ですが、上司の評価は「人当たりがとても良く、窓口対応が丁寧で感心している」「仕事に積極的かつ対応も的確。別の会社で働いた経験があるのかと思っていた」と上々です。

「必ず仲間が見つかるから大丈夫」

なりました。人と話すことが苦手だった河村さんですが、大きく成長し、気付いたら人と関わるのが好きになっていました。

八戸市役所障がい福祉課の関川宏明さん(36)は、市役所に入庁後、放送大学大学院に入学。2010年3月に修了して修士(学術)を取得した「院卒職員」です。関川さんは、「勉強の面白さに気がきました。政治、経済、社会学の知識が蓄えられる上、修士論文を書くことで段取り力も身に付く。仕事をする上での引き出しが増えました」と話します。現在は来年1月の中核市移行を見据えて青森県の研修を受けており、「放送大学の魅力は気軽に入れることです。興味のある1科目だけでも勉強を始めれば、きっと『学が喜び』を感じられます」と呼び掛けていました。

放送大学で学んだ心理学の知識を生かして多くの人の役に立ちたいとの夢を持ち、今年の4月市役所に採用されました。働き始めてまだ4カ月ですが、上司の評価は「人当たりがとても良く、窓口対応が丁寧で感心している」「仕事に積極的かつ対応も的確。別の会社で働いた経験があるのかと思っていた」と上々です。

働きながら「院卒職員」に



院卒職員の関川さん

関川宏明さんの場合

放送大学って どんなところ？

放送大学は国が認可した正規の大学で、全科履修生として4年以上在学し所定の単位を修得すると、学士(教養)の学位を取得できます。また放送大学の単位は、教員免許状、司書教諭、看護師、認定心理士、社会教育主事などさまざまな資格取得に活用できます。

入学試験はなく、入学金は最も高い全科履修生でも24000円。1科目当たりの授業料はテキスト代込み11000円で、最長10年間で学べる上、何度でも再入学が可能。制度、費用の両面で、学びたい人すべてがいつでも学べる「開かれた大学」です。

